

地域おこし協力隊活動報告

農村活性推進員 錦古里 大河





広尾町地域おこし協力隊1年目

錦古里 大河
にしきごり たいが



- 1999年5月12日(24歳)
- 北海道栗山町出身
- 北海学園大学経営学部卒業
- 身長190.8cm

協力隊としてやっていること

1. 農場派遣事業
2. 昆布を活用した飼料開発

農場派遣事業について

研修として農家さんのもとでヘルパーとして派遣され、
仕事をしながら農業を学ぶ事業

人手不足&担い手不足の解消

農場派遣事業について

でも、僕は就農を目指しているわけでもない！！

人手不足&担い手不足

農場でヘルパーとして派遣され、

農場事業

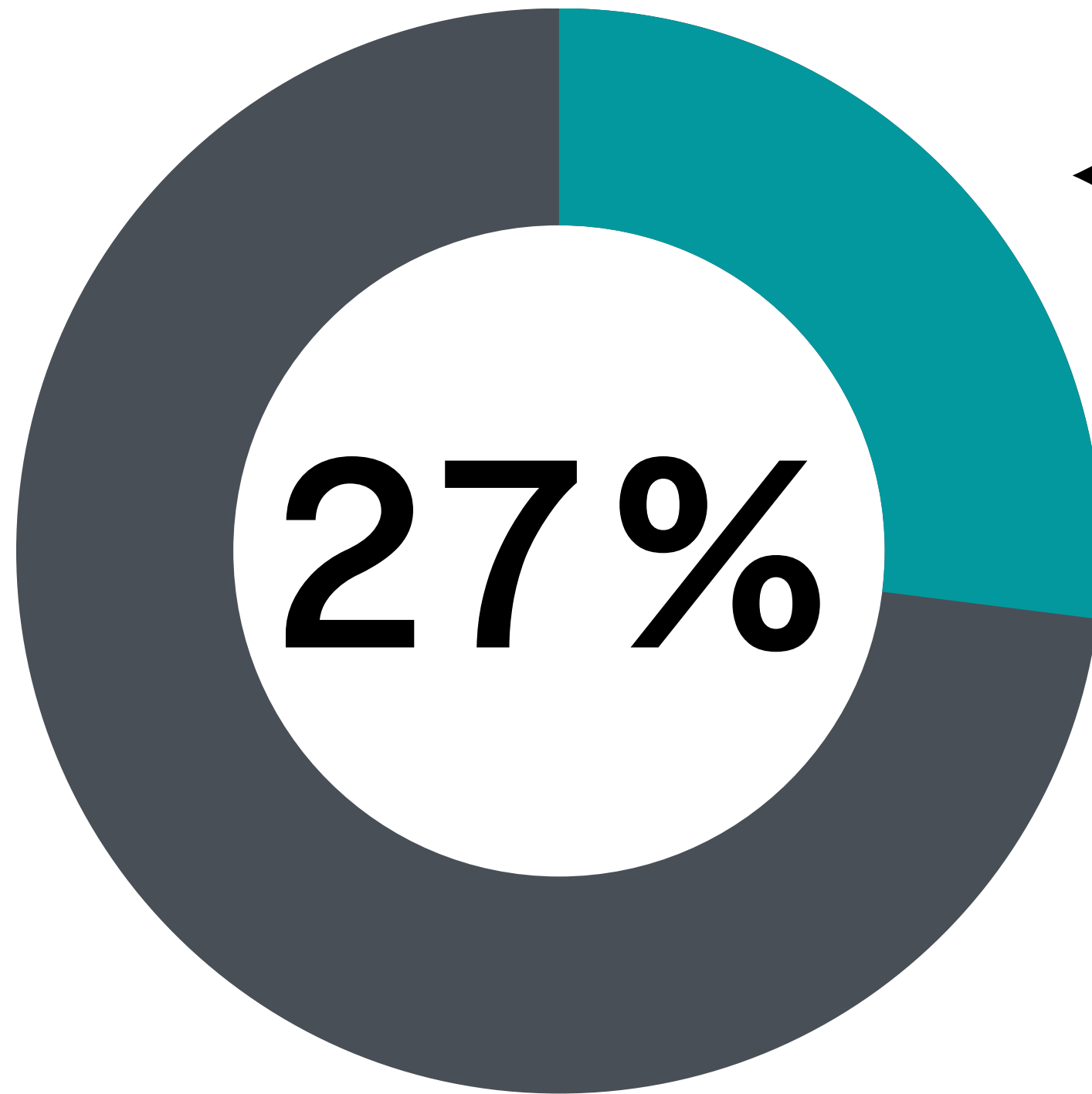


～エコなコンブで地球を救う～

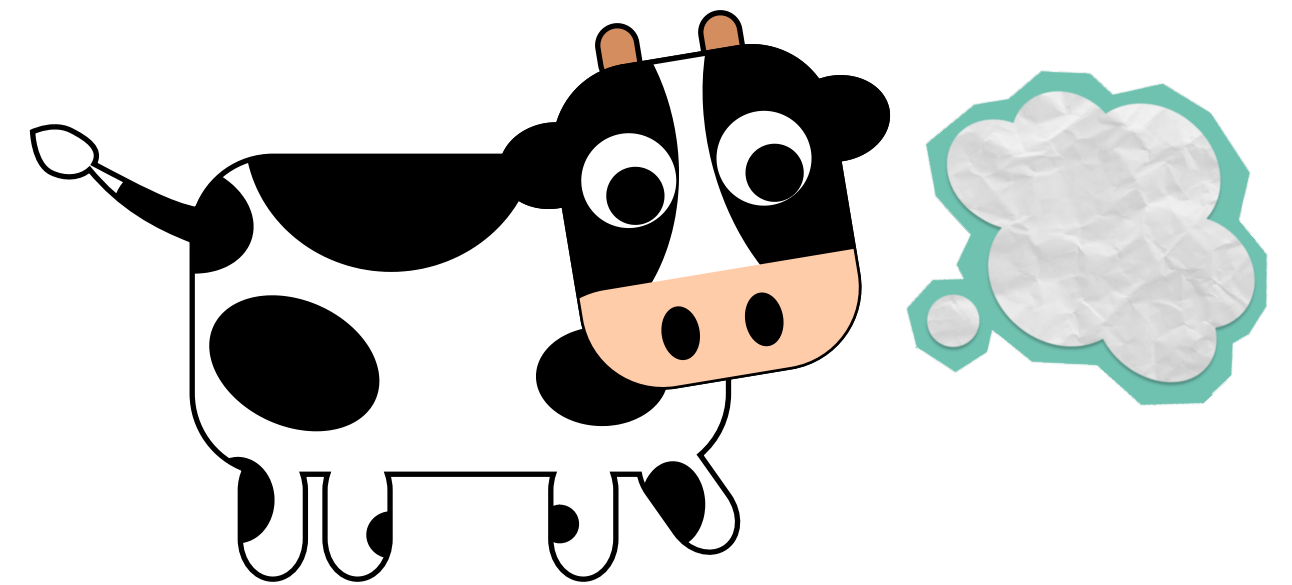


げっぷ問題

$\text{CH}_4 = \text{CO}_2$ の25倍の温室効果



←牛のゲップ



国内のメタン排出量の内訳

参照：読売新聞2022年7月26日 4

環境

世界初の牛の「げっぷ税」案、NZ大臣「いずれ世界は追随する」

家畜が排出する温室効果ガスに応じて課税、農家は猛抗議

2022.11.21

ツイート

いいね！ 307

B!



ニュージーランド西海岸ワタロアで飼育される乳牛。こうした家畜が出すメタンガスに課税するというニュージーランド政府の方針に農家は激しく抗議している。（Photograph by Hedgehog House, Picture Press/Redux）

[画像のクリックで拡大表示]



ニュージーランドでは2025年から 牛のげっぷに課税するという記事

世界的にも牛のげっぷ問題というのはかなり問題視されている。





もつたいたない海藻から作る
地球にやさしい飼料添加物



小樽商科大学

帯広畜産大学

帯広畜産大学と共同研究



→海藻を微生物処理することによって
メタン抑制効果の創出
→特許申請中

e-Combuの効果

メタンガス抑制

乳量/飼料効率アップ



昆布を軸に新たな循環型社会



漁業



広尾産昆布

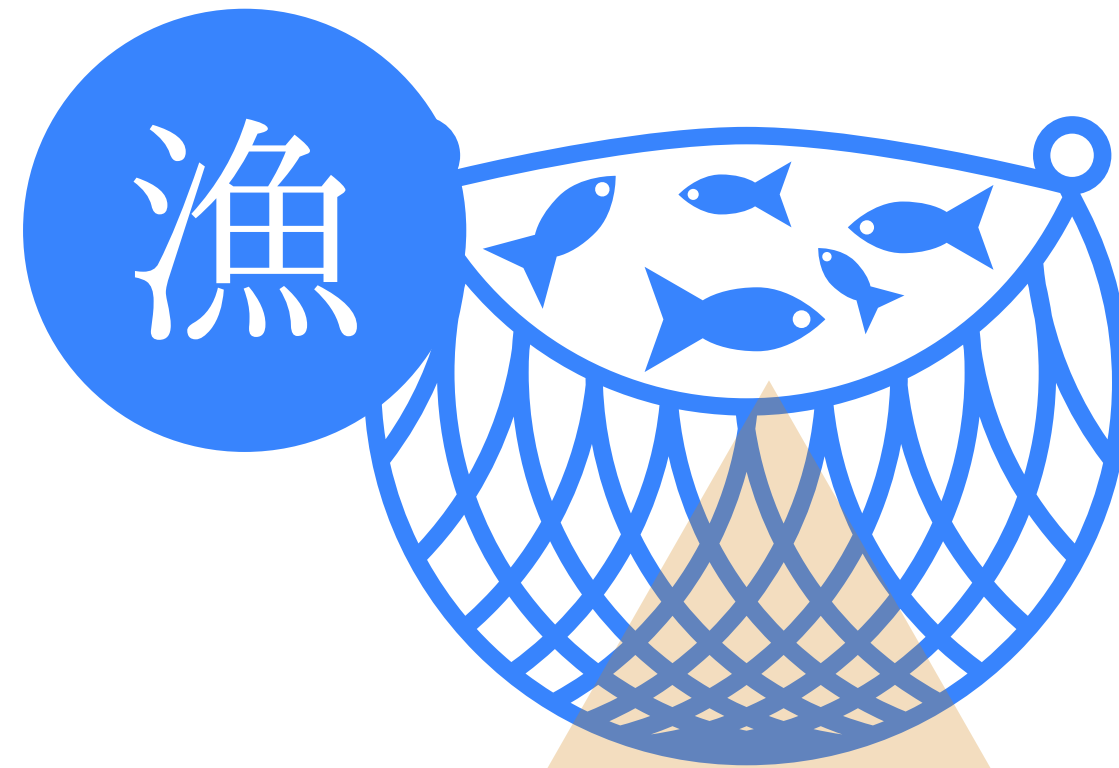
- ・ 昆布に新たな価値創造
- ・ 浜がきれいになる



- ・ メタン抑制飼料の提供
- ・ 新たなブランディング



農業



**農林水産業すべての分野で
カーボנקレジットを発行している町へ**



更なる人の流れ



今年やったこと

- ・ 18試験区でのサンプル作成、検査
- ・ 20件以上の農家さんへのヒアリング

その他各方面への関係作り

来年度は

農活チャレンジ

～ サンタのまち十勝広尾町の魅力を発見し、農とふれあう～

■受入プログラム

- ・ステップ1 体験研修 1日～1か月
(簡単な酪農体験・農家さんとの交流)
- ・ステップ2 実践研修 3か月～1年
(酪農実習・座学・農業関連施設の視察)
- ・ステップ3 就農研修 ステップ2と併せて最長2年
(就農に必要な技術研修・就農計画の策定等)

協力機関：広尾町、広尾町農業協同組合、十勝農業改良普及センター
十勝南部支所、雪印メグミルク(株)大樹工場、広尾集落、
十勝農業共済組合南部事業所、サンタランド農業未来ラボ、
広尾で酪農どうでしょう

研修内容を
説明するね！



たくさんの若者を
この事業に呼ぶことで
将来的な就農希望者を
創出していく

そのためにも協力隊としての発信
を頑張っています！



@hiroo_chiikiokoshi



各協力隊1週間1投稿実施中！！
ちゃんと投稿してるか監視してください！笑

最後に





やっぱり広尾町最高です！！



1年間本当にお世話になりました!!

町民の皆さんの温かい雰囲気のおかげで
と...とても幸せな毎日を送っています。

これからも広尾町をより盛り上げるため
頑張っています。と思っています。

今後ともよろしくお願いします。

錦理 大河